

IV. 人間：創造され、回復された神のかたち

今日、この世は「人間であるとはどういうことか？」という問いに夢中になっている。このため、キリスト教の「人間」の教理（人間論）がきわめて重要になっている。この問いにどう答えるかによって、私たちがこの世で行う証しや、教会生活に大きな影響が出る。この問いは、アイデンティティ、人間のセクシュアリティ、技術進歩の影響など、この世界で起きている大きな地殻変動の核心に迫るものでもある。また、健全な人間論は、教会内で超人的な力や神のような権威を主張する指導者が増えている現状に対処する上でも不可欠である。

神のかたちは人間の本質である。

48. 聖書は、人間が神のかたちに創造された特別な存在であることを教えている。この特別な立場には、世界の管理者としての役割と責任が含まれる。神のかたちが与えられていることによって、性別、民族、人種、カースト、年齢、身体的・精神的能力、社会的・経済的・文化的背景に関係なく、すべての人間には生まれながらにして尊厳と価値が等しく備わっている。三位一体の神は、他者との関係の中で生きる存在として人間を創造され、神と個人的な関係を持ったり共同体を形成したりするようにされた。（創世記 1：26～28、2：15）
49. 人間は、肉体と霊が統合された存在であり、肉体を補完する霊的次元を備えている。したがって、私たちは肉体と霊のどちらか一方を他方よりも優れたものとする考え方を否定する。
50. 私たちは、罪は人間が神のかたちをどの程度まで反映するかに影響することを認める。罪は、私たちの本来の人間性と能力、他者との関係を破壊し、この世における人間の使命を見失わせる。罪の悪影響により、人は他者を本来の価値ある存在としてではなく、単なる物として扱うようになる。時にはキリスト者でさえ、自己中心的な理由から神のかたちの教えを曲解し、他者を疎外して非人間的に扱うことがある。

神のかたちはキリストにあって回復される。

51. 私たちは、神の御子イエス・キリストこそが神の御姿であることを固く信じる。キリストは受肉によって完全な人となられ、第二のアダムとなられた。最初のアダムとは異なり、キリストは罪のない生涯を送り、人類を罪と神との断絶から贖う資格がある方と認められた。神の究極の御姿であるイエス・キリストは、人間の理想像であり、この方に似た者へとすべての信者が聖霊によって変えられていく。神のご性質にあずかる者として、私たちは恵みによってキリストに似た者へと変えられるのである。キリストに似た性質は、私たちの人格、習慣、願望、志が新たにされることによって、また再臨の時にはキリストの復活の体のような体に変えられることによって明らかになる。（コロサイ 1：15、ヘブル 1：1～3、ヨハネ 1：1、14、ピリピ 2：1～11、エペソ 1：10、ローマ 5：12～14、1 コリント 15：45～49、50～54）
52. 教会は、キリストによって創造された新しい人であり、キリストは信者を神と和解させ、お互いの間で和解させる。この新しい人はキリストの姿に変えられつつあり、このキリストによって本来の完全な人間性が定義されている。（エペソ 2：14～16、ローマ 8：9、ローマ 12：1～2、2 コリント 3：18）
53. 贖われた人間は、神の姿に似せられた者として、教会の公益に仕え、この世で神の栄光を現すために賜物と奉仕を与えられている。すべてのキリスト者は、さまざまな賜物と召命を通して神の国に参加し、神の国の大使となる特権を与えられている。ただし、こうした働きや実践は、福音に関する使徒の証言と聖書の教えに照らして吟味する必要がある。偽の福音に惑わされたり、神の栄光を奪う行為に加担したりすることのないようにしなければならない。（1 コリント 12：4～7、ローマ 12：4～8、エペソ 4：11～16、1 コリント 1：4～8、1 ペテロ 4：10～11、マタイ 7：

15～16、ガラテヤ 1：6～9、1 ヨハネ 2：19、ユダ 3～4)

54. 私たちは、キリストに見られる理想に反する誤った新しい人間観を嘆く。また、繁栄や名声を追い求めるミニストリーに見られるような、キリストらしさから離れたキリスト教指導者たちに悲しみを覚える。その中には、自分は神性を持っていると主張する者もいる。キリストが指導者として示した模範は、そのような主張や霊的権威のしるしとして他者を操作することに対して異議を唱える。神の国に生きる人生は、謙遜、悔い改め、神の恵みに拠り頼むことを特徴としている。(ルカ 9：23、ピリピ 2：8～11、3：18～19、1 コリント 15：9～10、1 ヨハネ 1：8～10)
55. 私たちは、肉体の復活と新しい創造の完成を待ち望んでいる。その時、人間のうちにある神のかたちと似姿は完全に回復される。その後、神の民は満ち足りた人生を生き、神と、お互いと、すべての被造物との交わりを楽しむことになる。(イザヤ 65：17、66：22、2 ペテロ 3：13、黙示録 21：1～4)

神のかたちと人間のセクシュアリティ

性的アイデンティティのキリスト教的理解

56. 聖書の創造の記述は、人間が男性と女性という明確に区別できる身体的な特徴を持ち、また男と女という人間関係上の特徴を持つ性的存在として創造されたことを認めている。「性」とは、男性と女性を区別する生物学的特徴を指し、「ジェンダー」とは、男性または女性であることに関連する心理的、社会的、文化的な側面を指す。聖書は明確に、男性と女性の両方が神のかたちを担い、創造主の代理として被造物である地球を管理する者であると宣言している(創世記 1：26～28、2：22～23)。
57. 私たちはセクシュアリティのあらゆる歪曲を嘆く。私たちは、自分が被造物であることを無視して、個人が自分の性別を決めることができるという考え方を否定する。生物学的な性とジェンダーは区別することができるが、両者は切り離せないものである。男らしさと女らしさは、人間が被造物であることから来る当然の事実であり、この事実に沿ってさまざまな文化には男性と女性を区別する表現がある。このため、私たちはジェンダー流動性(状況や経験に応じてジェンダー・アイデンティティやジェンダー表現が変わるという主張)という概念も否定する。
58. しかしながら、歴史を通じて、出生時に性別が明確でない人々(今日では広く「インターセックス」と呼ばれる人々)は、心理的、社会的に大きな問題に直面してきた。聖書の中で、神は去勢された人々の疎外感や苦しみに深い関心を示し、神に信頼を置く者にはより良い未来を用意し、尊厳の回復を約束している。同様に、神の民も、同様の状況に直面している人々に対して、思いやりと敬意をもって対応することが求められている(イザヤ 56：4～5)。

結婚と独身に対するキリスト教的理解

59. 聖書で最初に記された結婚に関する記述では、結婚は神によって定められたものであること、1人の男性と1人の女性がお互いの間だけで結ぶ関係として描かれている。これによって、聖書が「ひとつの体」と呼ぶ新しい存在となる。したがって、神のご計画によれば、結婚は1人の男性と1人の女性の間だけで結ばれる特別な契約関係であり、生涯にわたって肉体的・精神的な結びつきを保ち、互いに愛し合い、分かち合うことを誓い合うものである(創世記 2：24、マタイ 19：4～6)。
60. さらに聖書は、性行為は契約に基づく結婚の中だけで許されるものであると一貫して教えている。結婚外の性行為は、創造主のご計画とみこころに反する罪であるとも宣言されている。
61. 私たちは、同性間のパートナーシップを聖書的に有効な結婚と定義しようとする教会内のあらゆる

る試みを嘆く。また、一部のキリスト教の教派や地域教会が、文化の圧力に屈し、そのような関係を結婚として祝福していることを嘆いている。

62. 結婚は、次の世代を育てるために必要な環境を提供することで、人間の繁栄に役立つように神が意図されたものであることを認める。誠実な結婚生活によって、家族の生活の中で強い絆が生まれ、自由が適切に制限され、垣根がある中で子どもたちが健やかに成長できる環境を作り出す。
63. 結婚に関する聖書のビジョンには、創造主の「生めよ、増えよ」という命令の成就が含まれていると同時に、夫婦に交わりと喜びをもたらすものとして与えられている。私たちは、性的自由が個人的にも社会的にも良いものとして追求されることで、夫婦間の性行為が持つ子孫を生み出すという側面が軽視され、それによって子どもの価値が軽んじられ、世界的な中絶の劇的な増加につながる人が多い現状に心を痛めている（創世記 1：28、2：18～25）。
64. キリスト教の結婚は、キリストと教会の関係をモデルとしており、そのため、夫と妻がイエス・キリストの主権の下で弟子として互いに責任を果たすことで、福音を実際的に証しするユニークな手段となる。したがって、結婚することを選んだキリスト者は、夫婦関係を大切にし、生まれた子どもや養子として迎えた子どもの養育に十分な努力を払う必要がある（エペソ 5：22～31）。
65. あらゆる社会で大人は結婚することが理想とされ、結婚で夫と妻は互いを補い合うが、結婚は人を完全にするために不可欠なステップではない。結婚している人も独身の人も、創造主のみこころを成し遂げ、イエス・キリストを証しすることができる。神のかたちに創造されたすべての人間は、他の人との関係の中で最大限の可能性を発揮できる完全な存在である。主イエスは、理想的な人間として、独身生活に関するこの真理を身をもって示された。使徒パウロもまた、状況によるものであれ神に召されたものであれ、独身者には、結婚している人にはできない神の国の特別な奉仕の機会があると主張している（1 コリント 7：32～35）。
66. 私たちは、すべての地域教会に対し、キリスト者の共同体の中で、独身者と既婚者の両方をサポートし、教え、指導し、お互いに励まし合って実際的なサポートを行うネットワークの提供を行うよう呼びかける。そのような共同体は、深い友情、結婚における愛と誠実さ、両親を敬うこと、イエス・キリストの主権と神の栄光に忠実に生きる中で子どもを献身的に育てるという聖書の価値観に従うことで、福音の力を証しする。

同性間の性的関係に対するキリスト教的理解

67. 同性間の性的関係は、人類の文明と同じくらい古くから存在する現象であり、旧約聖書と新約聖書のどちらにも、そのような習慣があるという認識が示されている。聖書には、同性間の性行為に明確に言及している箇所が6つある。現代の社会と教会にとってきわめて重要なこのテーマについて、キリスト者は聖書に記されている同性間の性的関係に関するすべての箇所を理解し、文脈の中で意味を把握することが欠かせない。その聖書箇所とは、創世記 19：1～3、レビ 18：20、20：13、ローマ 1：24～27、1 コリント 6：9～11、1 テモテ 1：9～11 である。
 - 旧約聖書では、アブラハムとその家族の人生がソドムの文化と交差した創世記 19：1～3 で、同性間の性行為が言及されている。ソドムは、神が嘆かわしいほど邪悪だと宣言した町で、その悪名はさまざまな社会悪によるものだった。その一例として、町の男たち全員がロトの客人を集団で強姦しようとした出来事が記録されており、このことはソドムの道徳的墮落を示す証拠として強調されている。（エゼキエル 16：49～50、創世記 18：20～21、19：1～13、ユダ 7）
 - 新約聖書に記された使徒の証言では、ローマ 1：18～27、1 コリント 6：9～11、1 テモテ 1：9～11 で、ギリシャ・ローマ文化という背景の下で同性間の行為が言及されている。当時の歴史的記録でも同性間の性行為は広く知られており、特に上流階級では常習化していた。そのような中で、パウロは同性間の性行為を、姦淫や不品行と同じカテゴリーの性的

な罪の一つとして挙げているほか、窃盗、貪欲、酩酊、中傷、詐欺という幅広い罪のリストの中に含めていることは注目に値する。1 テモテ 1:9~11 では、同性間の性行為を禁じているリストの中に、父母殺し、殺人、不品行、奴隷売買、偽証などが含まれており、こうしたことを行う者は「不法な者や不従順な者、不敬虔な者や罪深い者、汚れた者や俗悪な者」と呼ばれている。

- 1 コリント 6:9 では、パウロはレビ 18:20 と 20:13 の 2 つの記述から「男性同士の性行為」を指す造語を作っている。これらの聖句では、同性間の性行為は神との契約によってイスラエルの民に課された神の基準に反していることが明記されている。
- パウロがローマ 1:24~27 で同性間の性行為に言及しているのは、人類の神に対する反逆がいかにして創造の秩序の拒絶にまで至ったかを語るためである。人間が道徳的に破綻していることを示す例として、パウロは偶像礼拝と性的不道徳を挙げている。性的不道徳については、パウロは特に女性同士、男性同士の性行為を非難している。こうした行為は、当時の「洗練された文化」の中で広く知られていたことを踏まえた上での記述である。

68. 同性間の性行為に言及している聖書箇所をすべて総合して考えると、そのような行為は神が意図した性のあり方に反し、創造主の良い計画を歪めるものであり、罪だという逃れようのない結論に導かれる。しかし、福音は、無知のためであれ故意にであれ、誘惑に負けて罪を犯した人々が、告白と悔い改め、キリストに対する信頼によって、神との交わりを回復し、赦しを受けることができることと約束している。

69. 私たちは、教会の内外を問わず、多くの人が同性に性的魅力を感じており、中にはそれが唯一または支配的な性的指向であるという人がいることを認識している。キリスト者が誘惑に抵抗し、欲望と行動の両面で性的な聖さを保つ必要があるという聖書の要求は、異性愛者にも同性に性的魅力を感じる人にも等しく適用される。しかしながら、同性に性的魅力を感じるキリスト者は、キリスト教の共同体の中でさえも困難に直面することがあることを理解している。私たちは、キリストのからだの中で、兄弟姉妹に対して十分な愛を示してこなかったことを悔い改める。

70. 私たちは、キリスト教の指導者や地域教会に対し、教会の共同体の中にも同性に性的魅力を感じる信者が存在することを認識し、そうした人たちが弟子となる歩みの中で、牧会的な配慮をもって支え、愛と友情に満ちた健全な共同体を築いていくことを強く求める。

原文

IV. The Human Person: The Image of God Created and Restored

Today, the world is absorbed with the question, “What does it mean to be human?” This makes the Christian doctrine of the human person critically important. How we answer this question has profound implications for our witness in the world and our life in the church. It goes to the very heart of the great upheavals in the world with regard to issues such as identity, human sexuality, and the implications of advancing technologies. A sound doctrine of the human person is also vital for dealing with the growing phenomenon of leaders that claim supra-human powers and God-like authority within the church.

The image of God is the essence of being human.

48. Scripture teaches that human beings are uniquely created in God’s image. This uniqueness includes stewardship roles and responsibilities in the world. The gift of image-bearing provides all human beings with inherent dignity, equality, and worth, regardless of gender, ethnicity, race, caste, age, physical and mental capacities, and socioeconomic and cultural contexts. The triune God created human beings to be relational, including personal relationships with God and the formation of communities. (Gen 1:26-28; 2:15)

49. Human beings are an integrated physical and spiritual unity, possessing a spiritual dimension that complements the physical. We therefore reject any privileging of body or spirit over and against the other.
50. We acknowledge that sin affects the degree to which human beings can fully reflect the image of God. Sin corrupts our inherent human nature and capacities, our relationships with others, and our human vocation in the world. Sin adversely influences people to treat other humans as objects, not as persons of intrinsic worth. At times even Christians have sinfully misinterpreted the image of God out of self-interest, to marginalise and dehumanise others.

The image of God is restored in Christ.

51. We affirm that Jesus Christ, the Son of God, is the image of God. By his incarnation, he became fully human as the second Adam. Unlike the first Adam, he lived a sinless life, and thus qualified to redeem humanity from sin and its alienation from God. As the preeminent and perfect image of God, Jesus Christ is the human ideal to which every believer is being transformed by the Holy Spirit. As we partake in God's nature, we are being conformed to Christ's likeness by grace. This Christlikeness is revealed in the renewing of our character, practice, desires, and aspirations, and at his Second Coming, in the transformation of our bodies into the likeness of Christ's resurrected body. (Col 1:15; Heb 1:1-3; John 1:1, 14; Phil 2:1-11; Eph 1:10; Rom 5:12-14; 1 Cor 15:45-49, 50-54)
52. The church is God's new humanity, created by Christ who reconciles believers to God and to each other. This new humanity is being transformed to bear the image of Christ, the one who defines true and full humanity. (Eph 2:14-16; Rom 8:9; Rom 12:1-2; 2 Cor 3:18)
53. As bearers of God's image, redeemed human beings are endowed with gifts and ministries in order to serve the common good of the church and bring glory to God in the world. Every Christian has been granted the privilege of participating in, and being an ambassador for, the kingdom of God through their various gifts and callings. However, all of these manifestations and practices are to be weighed against the apostolic witness to the gospel and Scripture so that no one is deceived by a false gospel or participates in the robbing of God's glory. (1 Cor 12:4-7; Rom 12:4-8; Eph 4:11-16; 1 Cor 1:4-8; 1 Pet 4:10-11; Matt 7:15-16; Gal 1:6-9 1 John 2:19; Jude 3-4)
54. We lament any false notions of the new humanity that contradict the Christlike ideal and grieve for Christian leadership that moves away from Christlikeness, as is evident in prosperity and fame-based ministries where some even make claims to possessing divinity. Christ's leadership example challenges such claims and the manipulation of others as a sign of spiritual authority. Life in the kingdom of God is characterised by humility, repentance, and reliance on God's grace. (Luke 9:23; Phil 2:8-11; 3:18-19; 1 Cor 15:9-10; 1 John 1:8-10)
55. We await the resurrection of the body and the consummation of the new creation, when the image and likeness of God in human beings will be fully renewed. Then, God's people will enjoy fullness of life and communion with God, with each other, and with all creation. (Isa 65:17; 66:22; 2 Pet 3:13; Rev 21:1-4)

The image of God and human sexuality

The Christian understanding of sexual identity

56. The biblical account of creation recognises that humans are created as sexual beings with clearly identifiable physical characteristics as male and female and relational characteristics as man and woman. The “sex” of an individual refers to the biological characteristics that distinguish male from female, whereas “gender” refers to the psychological, social, and cultural associations with being male or female. The Bible unambiguously affirms that human beings, both male and female, bear the image of God, representing the Creator in the care of his created earth. (Gen 1:26-28; 2:22-23)
57. We lament any distortion of sexuality. We reject the notion that individuals may determine their gender without regard to our createdness. Although biological sex and gender may be distinguished, they are inseparable. Maleness and femaleness are an inherent fact of human createdness—a fact to which cultures give expression in distinguishing between men and women. We also reject the notion of gender fluidity (the claim to fluctuating gender identity or gender expression, depending on situation and experience).
58. Throughout history, however, persons whose sex is not observably clear at birth (broadly designated today as intersex individuals) have faced significant psychological and social challenges. In the Scriptures God expresses his deep concern for eunuchs in their experience of alienation and pain, and has prepared a better future for those who put their trust in God, promising them the restoration of their dignity. In this same way, the people of God are called to respond with compassion and respect towards those who face similar circumstances today. (Isa 56:4-5)

The Christian understanding of marriage and singleness

59. The first reference to marriage in the Bible indicates that marriage is God ordained and depicts marriage as the exclusive bond of one man and one woman. This results in a new entity that the Bible refers to as “one flesh.” We affirm, therefore, that according to God’s design, marriage is a unique and exclusive covenant-relationship between one man and one woman, who commit themselves to a lifelong physical and emotional union of mutual love and sharing. (Gen 2:24; Matt 19:4-6)
60. Furthermore, the biblical teaching is consistent that covenant marriage is the only legitimate context for sexual intercourse. Sex outside the bounds of marriage is declared to be a sinful violation of the Creator’s design and intent.
61. We lament all attempts in the church to define same-sex partnerships as biblically valid marriages. We grieve that some Christian denominations and local congregations have acquiesced to the demands of culture and claim to consecrate such relationships as marriages.
62. We affirm that marriage is intended by God to serve human flourishing by providing the necessary context for the nurture of succeeding generations. Faithful marriages allow for strong bonds of family life, appropriately delimiting freedom and creating the bounded and nurturing environment that enables children to thrive.
63. The biblical vision of marriage includes the fulfilment of the Creator’s mandate to procreate, and simultaneously provides companionship and pleasure for the couple. We are saddened that the pursuit of sexual freedom as a perceived personal and social good has downplayed the procreational aspect of marital sex, which has often led to the devaluing of children and the

dramatic increase in abortions globally. (Gen 1:28; 2:18-25)

64. The Christian marriage is modelled on the relationship of Christ and the church, and therefore constitutes a unique means of witness to the outworking of the gospel, as the husband and wife fulfil their responsibilities to one another as disciples under the lordship of Jesus Christ. Therefore, Christians who choose to marry must invest the necessary effort to care for their marital relationship and for the upbringing of children who may be born to them or adopted by them. (Eph 5:22-31)
65. While marriage has been the assumed ideal for adults in all societies, and in marriage husband and wife complement each other, marriage is not an essential step to make a person complete. Both married and single persons are fully able to fulfil the Creator's will and bear witness to Jesus Christ. Each individual, created in the image of God, is a complete person with maximum potential within the context of other human relationships. The Lord Jesus, the ideal human, exemplified this truth about the life of singleness. The apostle Paul positively argued that singleness, whether circumstantial or vocational, offered the Christian unique opportunities to serve the cause of the kingdom of God in ways not possible for those who are married. (1 Cor 7:32-35)
66. We call all local churches to support both singles and married couples within the community of Christian believers through teaching, mentoring, and networks of mutual encouragement and practical support. Such a community witnesses to the power of the gospel by modelling the biblical values of deep friendships, love and faithfulness in marriage, the honouring of parents, and the dedicated nurture of children within the context of loyalty to the lordship of Jesus Christ, and to the glory of God.

The Christian understanding of same-sex sexual relations

67. Sexual intimacy between persons of the same sex is a phenomenon that is as old as human civilization, and the Bible, in both the Old and New Testaments, shows its awareness of such practices. On six occasions we find the explicit mention of same-sex sexual behaviour in the Bible. Because of the extraordinary importance of the subject for society and the church today, it is vital that Christians become familiar with all the references to same sex sexual intimacy in the Bible, and their meanings in context—Genesis 19:1-3; Leviticus 18:20; 20:13; Romans 1:24-27; 1 Corinthians 6:9-11; 1 Timothy 1:9-11:
 - The Old Testament refers to sex between persons of the same sex in the account of Genesis 19:1-3 where the life of Abraham and his family intersected with the culture of Sodom, which God had declared to be grievously wicked. Sodom's notoriety had been due to multiple forms of social evils, including the attempted male-rape of Lot's guests by all the townsmen being highlighted in the narrative as evidence of the abysmal moral condition of the city. (Ezek 16:49-50; Gen 18:20-21; 19:1-13; Jude 7)
 - In the apostolic witness of the New Testament, same-sex behaviour is referenced in Romans 1:18-27, 1 Corinthians 6:9-11, and 1 Timothy 1:9-11, against the backdrop of Greek and Roman culture. The historical record makes clear that sex between persons of the same sex was a well-known practice during this period, having been normalised, especially in the upper strata of society. In this context, it is striking that Paul places sex between persons of the same sex in the same category of sexual sin as fornication and adultery, and within a broader list of sins that included thieving, greed, drunkenness,

slander, and swindling. In 1 Timothy 1:9-11, the list that proscribes same-sex behaviour includes patricide, murder, fornication, slave trading, and perjury. All who do such things are called lawbreakers, rebels, ungodly, sinful, unholy, and irreligious people.

- In 1 Corinthians 6:9, Paul coined a term to describe sex between men from two references in Leviticus 18:20 and 20:13. These texts state that sex between persons of the same sex violates God's standards for the Israelites who had been bound by their covenant to God.
- When Paul refers to sex between people of the same sex in Romans 1:24-27, he does so to express how humanity's rebellion against God has led to the rejection of his created order. As indications of humanity's total moral bankruptcy, he cites the widespread practice of idol worship and sexual immorality. With regards to sexual impurity, Paul specifically condemns sex between women and sex between men, which were clearly well-known practices in what was considered the sophisticated culture of the time.

68. All the biblical references to sex between persons of the same sex lead us to the inescapable conclusion that God considers such acts as a violation of his intention for sex and a distortion of the Creator's good design, and therefore, sinful. However, the gospel assures us that those who have, by ignorance or knowingly, given into temptation and sinned, will find forgiveness and restoration of fellowship with God through confession, repentance, and trust in Christ.
69. We recognise that a number of people, both within and outside the church, experience same-sex attraction, and that for some, this is the only or dominant attraction. The biblical insistence that Christians must resist temptation and so maintain sexual holiness, in both desire and behaviour, applies equally to heterosexually attracted individuals as it does to same-sex attracted persons. We acknowledge, however, that Christians who are same-sex attracted face challenges even in Christian communities. We repent of our lack of love towards our brothers and sisters in the body of Christ.
70. We urge Christian leaders and local churches to recognise within our communities the presence of believers who experience same-sex attraction, and to support them in their discipleship by pastoral care and by developing healthy communities of love and friendship.